

ミクロン精密 株式会社

会社説明会資料

◆本資料は投資を勧誘、推奨するものではありません。この情報に基づいての投資判断は、個人の責任において行ってください。

会社概要

- ◇事業内容 : ^{しん}心なし研削盤(センタレスグラインダ)
内面研削盤(インターナルグラインダ)
その周辺装置の製造、販売
- ◇社 是 : 技術と人柄
- ◇社員数(連結) : 225名
- ◇平均年齢(単体) : 38.9歳
- ◇業績(連結) : 売上高: 6,224百万円
2008年11月期 経常利益: 718百万円
(第49期) 当期純損失: 92百万円



柄 欠 齋 潔 技

【技術と人柄】

ものづくりはひとづくり、
そして感動のステージへ

当社の歴史

2000	● 2007/09 中小型研削盤組立工場(南工場)落成	■ 2008 生産6000台到達
	● 2006/12 中部サテライト落成(名古屋営業所移転)	
	● 2003/07 ドイツにMicron Europe GmbHを設立	
	● 2000/03 内面研削盤開発	■ 2001 生産5000台到達
1990	● 1998/04 ハイテクノロジーセンター落成 (ナノオーダーの加工精度を目指す)	■ 1994 生産4000台到達
	● 1989/02 米国 CATERPILLAR 社に初納入	■ 1988 生産3000台到達
1980	● 1988/06 米国にMICRON-U.S.A., INC. を設立	
	● 1987/06 米国 AUTOCAM 社に初納入	
	● 1980/08 日本電装株式会社(現:株式会社デンソー)に初納入	■ 1980 生産2000台到達
	● 1978/01 トヨタ自動車工業株式会社(現:トヨタ自動車株式会社)に初納入	
1970	● 1968/05 社名をミクロン精密株式会社に変更	■ 1969 生産1000台到達
	● 1966/12 株式会社東洋ベアリング(現:NTN株式会社)、日本精工株式会社に初納入	
	● 1963/04 株式会社不二越 に初納入	
	● 1961/10 中川精機製造株式会社として発足	
1960	● 1958/09 中川精機株式会社山形工場として創業	

当社の製品で研削される加工事例



2009年2月期実績 損益計算書(連結)

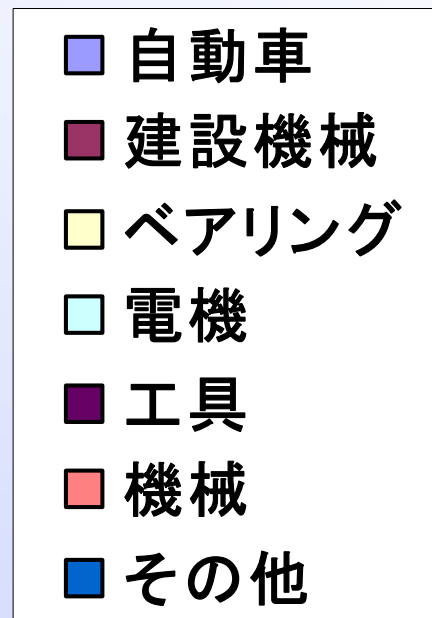
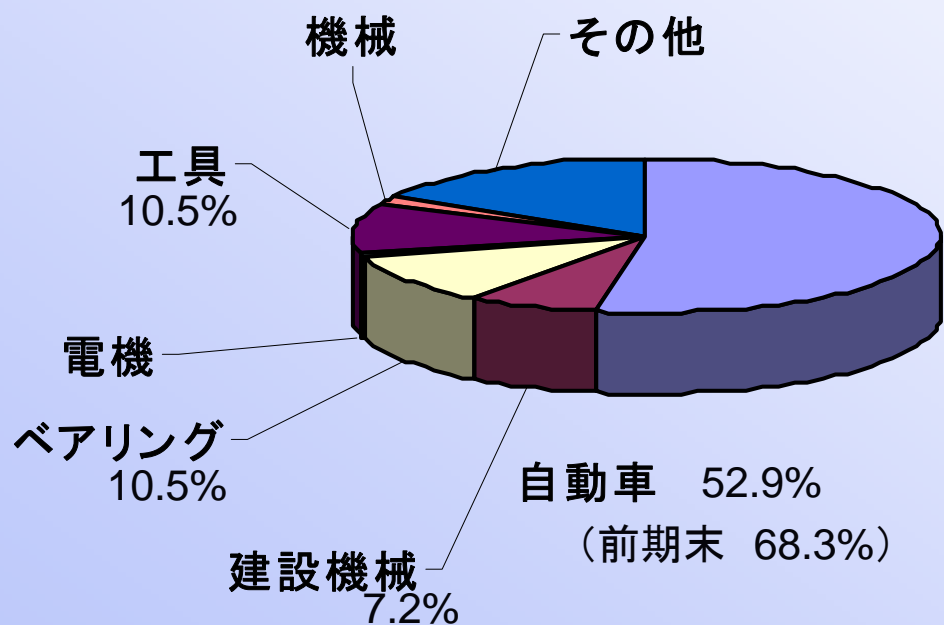
(百万円)

	2008年2月期 実績		2009年2月期 実績		前期 からの 伸び率
		百分比		百分比	
売上高	1,333	100.0 %	895	100.0 %	-32.9 %
売上総利益	321	24.1 %	260	29.1 %	-19.0 %
販売費及び一般管理費	205	15.4 %	175	19.6 %	-14.6 %
営業利益	115	8.6 %	84	9.5 %	-27.0 %
経常利益	64	4.9 %	85	9.6 %	+132.8 %
四半期純利益又は純損失(-)	18	1.4 %	-22	-2.5 %	- 222.2 %

売上高につきましては、平均売上金額及び台数とも減少となりましたが、1台当たりの売上総利益率(百分比)は、生産改善等を行った結果、微増となりました。経常利益につきましては、2008年2月期は、急激な為替相場の変動による為替差損を計上しましたが、2009年2月期は若干の差益となりました。四半期純利益につきましては、投資有価証券評価損77百万円を計上したことにより、四半期純損失となりました。

業種別売上比率

2009年2月期



2009年2月期実績 品目別売上高(連結)

(百万円)

	2008年2月期 実績		2009年2月期 実績		前期からの 伸び率
	売上高	百分比	売上高	百分比	
心なし研削盤	646	48.4 %	733	81.9 %	+113.5 %
内面研削盤	531	39.8 %	54	6.1 %	- 89.8 %
部品	140	10.6 %	97	10.9 %	- 30.5 %
その他	15	1.2 %	9	1.1 %	- 38.3 %
合計	1,333	100.0 %	895	100.0 %	- 32.9 %

心なし研削盤につきましては、前期末から繰り越した案件の売上計上により、増加となりました。
内面研削盤につきましては、主に、これまで増加基調であった自動車関連業界からの受注減少により、売上高全体としても前期を下回りました。

2009年11月期業績予想 損益計算書(連結)

(百万円)

	2008年11月期実績			2009年11月期予想		
		百分比	前期からの 伸び率		百分比	前期からの 伸び率
売上高	6,224	100.0 %	+0.0 %	3,467	100.0 %	-44.3 %
売上総利益	1,836	29.5	-0.4 %	823	23.8 %	-55.1 %
販売費及び一般管理費	887	14.3	-12.2 %	758	21.9 %	-14.5 %
営業利益	948	15.2	+14.0 %	65	1.9 %	-93.1 %
経常利益	718	11.5	-23.6 %	125	3.6 %	-82.6 %
当期純利益又は当期純損失(-)	-92	-1.5	- %	68	2.0 %	- %

2008年11月期末の受注残高が前年同期比約30%減となったこと、また、主需要先である自動車関連業界をはじめ、設備投資は大幅抑制傾向が続くと思われるながらも、国内自動車関連業界等による、省燃費化、環境対応のための需要が引き続きあることから、対前期比44.3%減の34億67百万円となる見込であります。営業利益につきましては、売上高の減収があるものの、販売費及び一般管理費の減少が見込まれることから、対前期比93.1%減の65百万円となる見込であります。当期純利益につきましては、このような状況から68百万円となる見込であります。

2009年11月期業績予想 品目別売上高(連結)

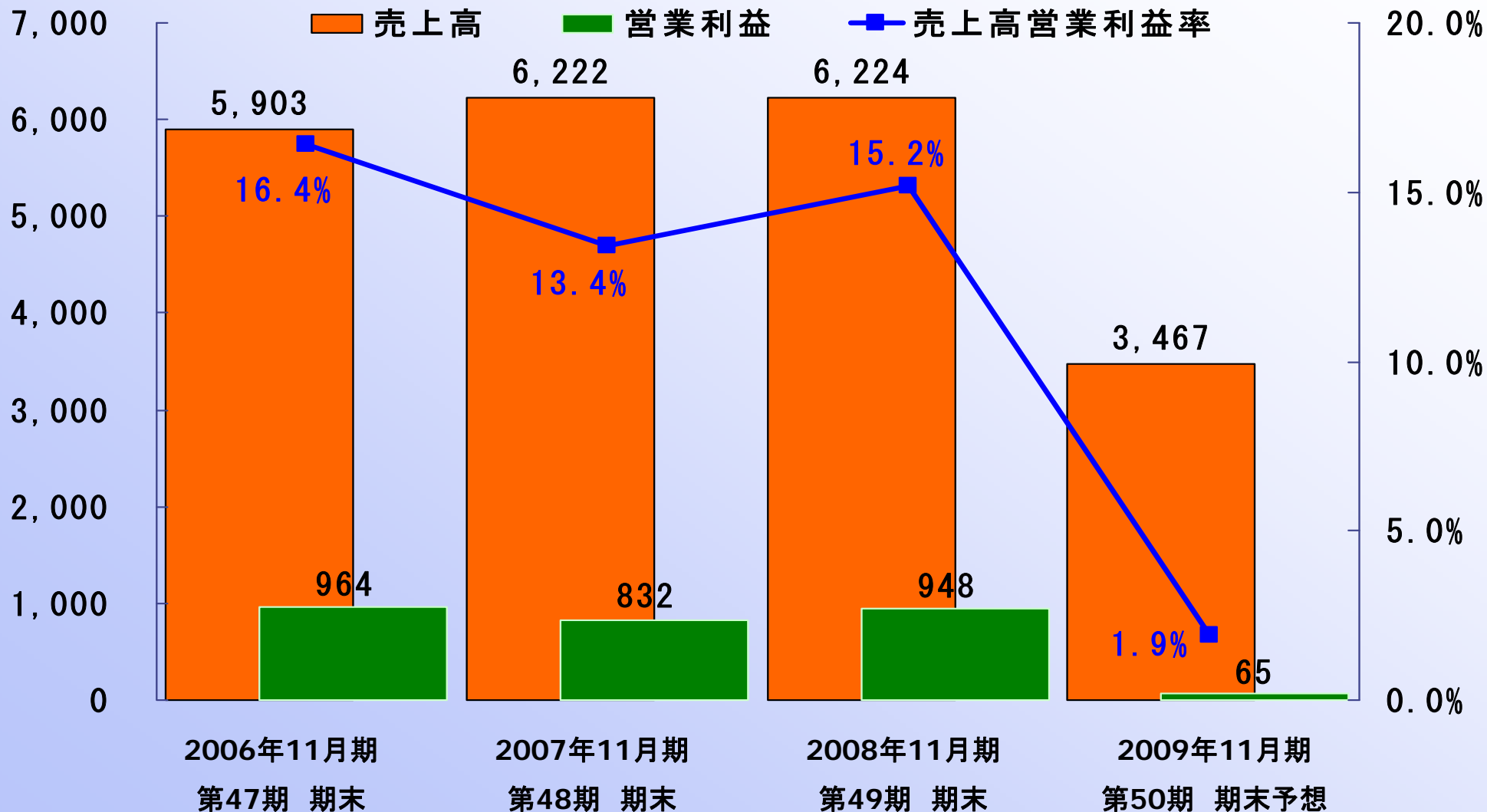
(百万円)

	2008年11月期実績			2009年11月期予想		
	売上高	百分比	前期からの伸び率	売上高	百分比	前期からの伸び率
心なし研削盤	4,224	67.9 %	- 3.6%	2,233	64.4 %	-47.1 %
内面研削盤	1,373	22.0 %	+14.0 %	665	19.2 %	-51.5 %
部品	571	9.2 %	-0.6%	527	15.2 %	-7.7 %
その他	55	0.9 %	-10.8 %	41	1.2 %	-25.0 %
合計	6,224	100.0 %	+0.0%	3,467	100.0 %	-44.3 %

心なし研削盤、内面研削盤とも、自動車関連メーカー向けの省燃費化や環境対応の需要に関する設備投資を中心とした受注残があるとともに、新たな受注獲得による売上を見込んでおります。また、心なし研削盤においては、建設機械業界向けは減少、ベアリング業界向けは横ばいながら受注を獲得しております。部品、その他の売上につきましても若干の減少を見込んでおります。

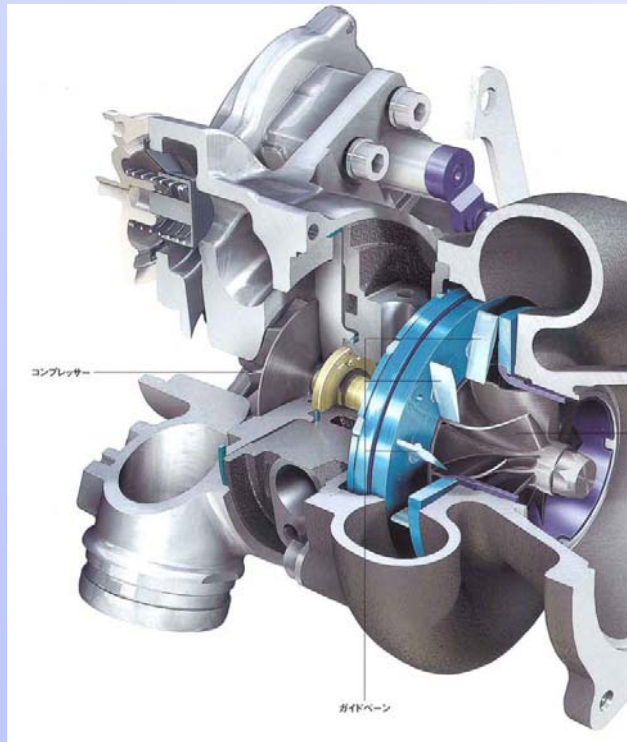
売上高の推移<通期>

(単位：百万円)

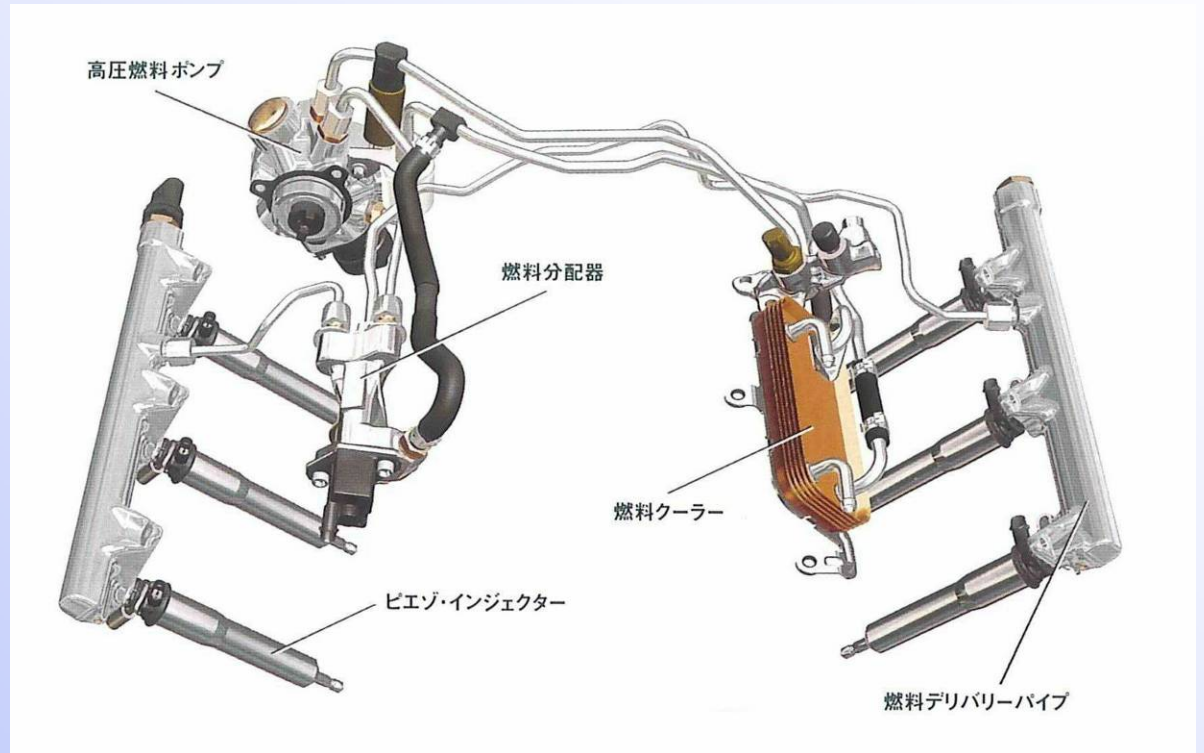


自動車の環境技術への貢献

《エンジンのダウンサイジング化へ》



◆ターボチャージャー

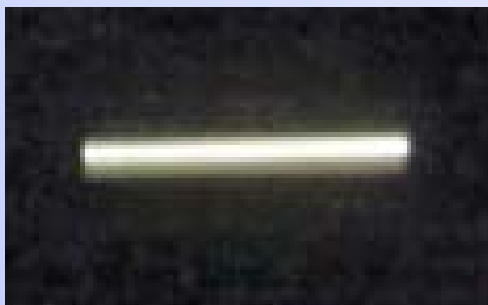


◆直噴燃料噴射システム

多様な産業への貢献拡大へ

《家電機器産業》

◆液晶パネル用バックライト



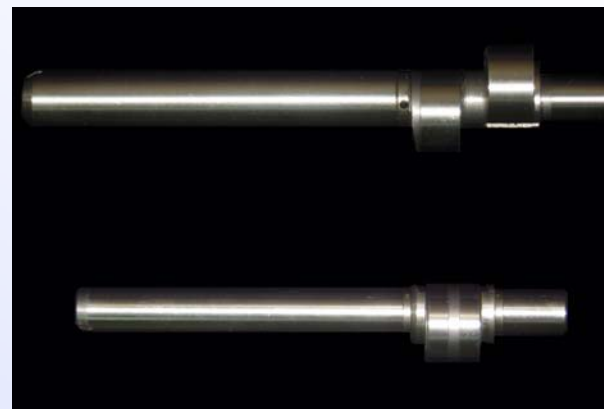
◆FAX、COPY機用ドラム



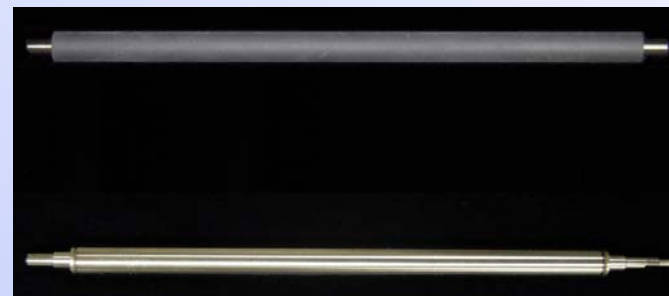
◆冷蔵庫用コンプレッサー



◆エアコン用コンプレッサー



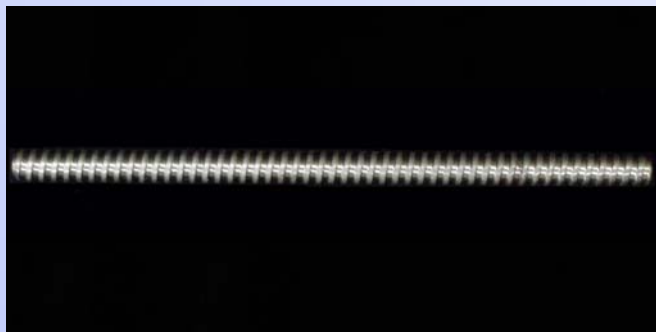
◆プリンター用シャフト



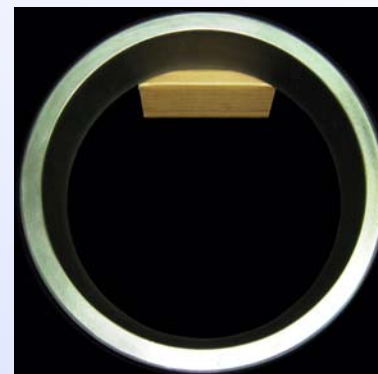
多様な産業への貢献拡大へ

《産業機械及び航空機産業》

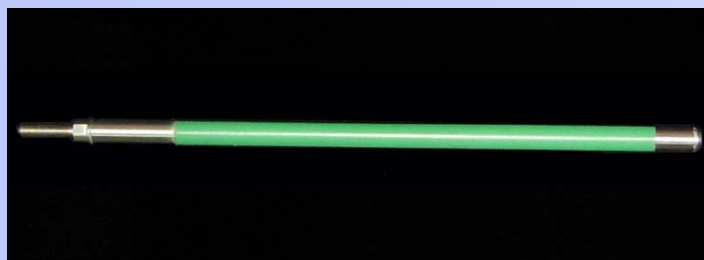
◆各種産業用ボールネジ



◆風力発電用大型ベアリング



◆各種スターリンエンジン



◆航空機用リベット



多様な産業への貢献拡大へ

《医療産業》

◆医療用カテーテル



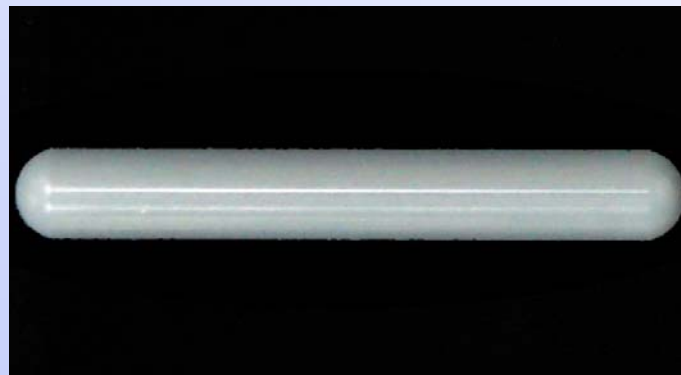
◆医療用ワイヤー



◆医療用注射器



◆医療用ポンプ



多様な産業への貢献拡大へ

《その他の産業》

◆光通信用コネクタ



◆各種小型レンズ用石英ガラス



◆ゴルフボール



中期経営計画

1. 世界一のものづくりと技術開発
2. 競争力を高める事業展開
3. 時代を先取りする
マネジメントシステムと人づくり

1. 世界一のものづくりと技術開発 新機種開発

心なし研削盤 MFC-600VI-15D-GS



全自動段取りと高精度化を追求した心なし研削盤。
熟練した経験と高度な技術が必要な段取り作業を全自動化。
2008年、対象加工物外径寸法の適用範囲の拡張を実現し、多品種、少量
生産に対応。

1. 世界一のものづくりと技術開発 新機種開発

内面研削盤

リニアモータ駆動方式による油静圧ガイド仕様のスライドを搭載した内面研削盤。

多工程加工（内径、シート面、端面など）に対応。

リニアモータ駆動により動作指令に対する追従遅れがなく、高速動作が可能。

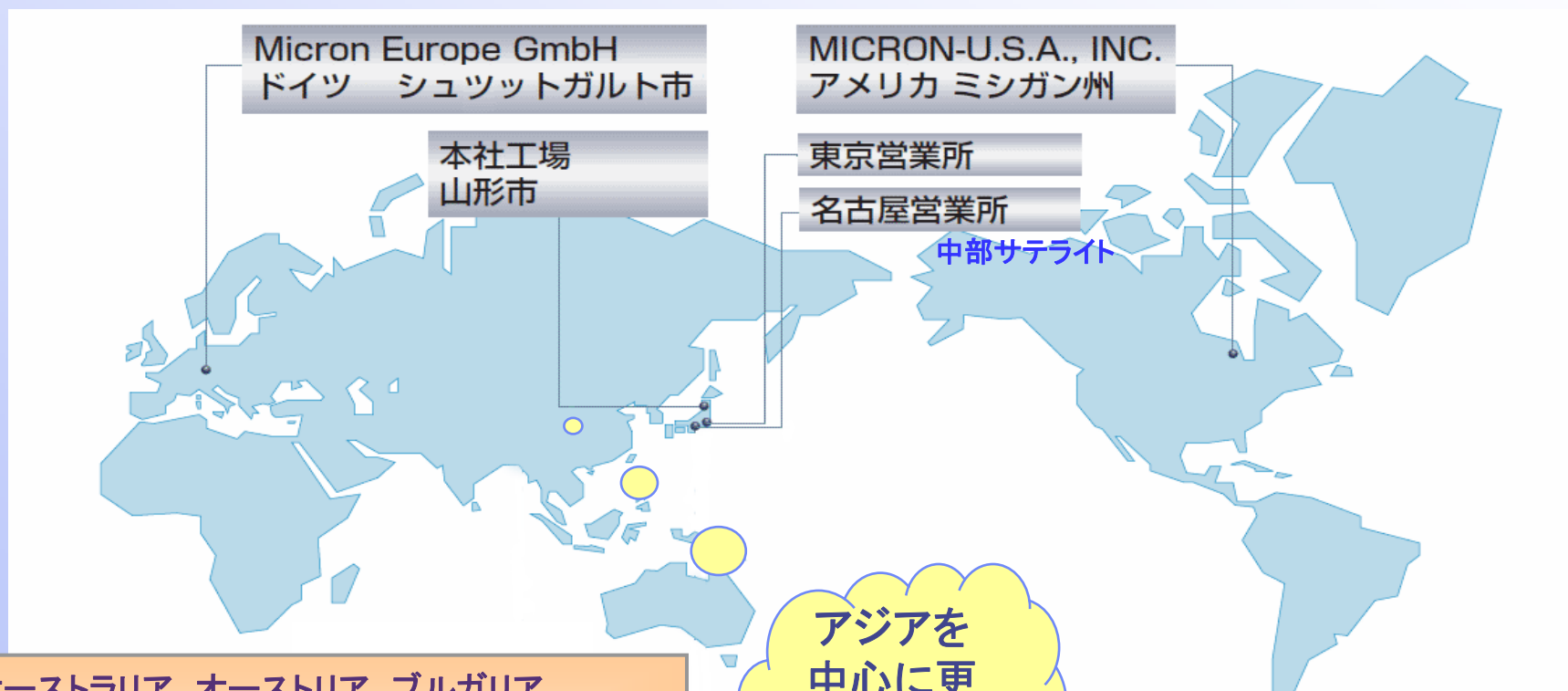
油膜により磨耗による劣化を解消。



MIG-101U-WS2G-HS

2. 競争力を高める事業展開

世界三極体制でワールドワイドにフォロー



オーストラリア、オーストリア、ブルガリア、
ブラジル、カナダ、スイス、中国、チェコ、
スペイン、フランス、ハンガリー、インド、インドネ
シア、イラン、韓国、メキシコ、マレーシア、
フィリピン、ポーランド、シンガポール、
ルーマニア、ロシア、タイ、トルコ、香港、
台湾、アメリカ、ベトナム（全28ヶ国）

アジアを
中心に更
なる拡大
を

主要地域にサービスマンが
常駐。お客様のサポートに
迅速に対応。

2. 競争力を高める事業展開

～世界3大工作機械見本市に最新鋭機を出展～

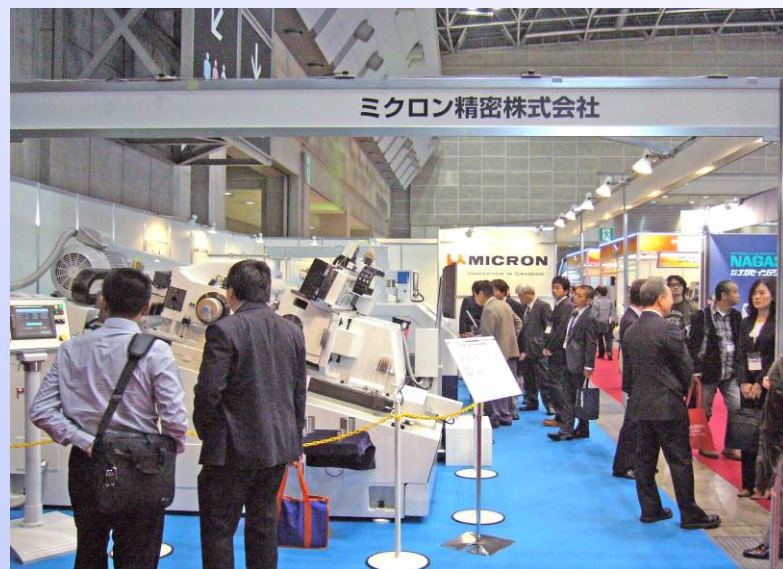
・米国のIMTS (国際製造技術展)

・出展企業40ヶ国、1,800社以上。
入場者数9万2千人、北米最大規模。



・日本のJIMTOF (日本国際工作機械見本市)

・出展企業17ヶ国、800社以上。
入場者数14万人、アジア最大規模の見本市。



3. 時代を先取りするマネジメントシステムと人づくり

生産改善、標準化への取組み

徹底したムダの排除



標準化



生産効率向上
コスト競争力の向上



3. 時代を先取りするマネジメントシステムと人づくり

お客様の側に立った品質と価値創造のできる人づくり

現場でおこなう人づくり
～技能・技術の伝承と鍛錬～



技術、知識の向上



生産能率向上
人柄の醸成



●将来見通しに関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保障を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。また、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

問い合わせ先 管理部

電話 :023-688-8112

FAX :023-688-8545

<http://www.micron-grinder.co.jp>

